

# 群青 6月号

串木野高等学校図書館  
令和7年6月23日発行



体育祭お疲れ様でした。

早い時期から練習していた応援団や吹奏楽部。大パネル制作の美術部。

体育委員，放送部を始めみなさんの協力で競技も進行も大成功でしたね。

頑張る姿で感動と笑顔が届きました。

これからが夏本番です。睡眠時間や食事を大事にして暑さをのりきりましよう。



## 図書委員 おすすめの本



『あと少し もう少し』

『この恋は世界でいちばん美しい雨』

『透明な夜の香り』

『35年目のラブレター』

『雲のカタログ 空がわかる全種分類図鑑』

『雲雀坂の魔法使い』

『やらかした時にどうするか』

瀬尾 まいこ

宇山 佳佑

千早 茜

小倉 孝保

村井 昭夫・鶴山 義晃

沖田 円

畑村 洋太郎

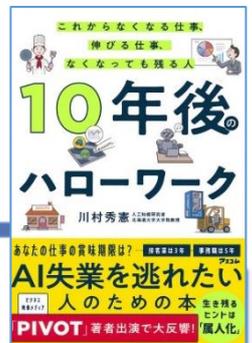


図書館にあります！  
予約を受け付けます

## 立森秀行校長先生 おすすめの本

『10年後のハローワーク』

川村 秀憲



10年後の社会を、「仕事は『意思決定』と『作業』に分解され、このうち『作業』に関しては、相当部分がAIに取って代わられる。」と筆者は結論づけている。自分の人生を決めるのは自分。この本を読んで、生き残るためにどうすればよいのか考えてみてはどうだろうか。印象的だったのは……

AIが出川哲朗に太刀打ちできないワケ／整えられた道よりも迷路を選べ／流行に身を任せるのは「自ら考えない人生」の延長でしかない／夢をバカにすると路頭に迷う……等々。

図書館にあります！  
予約を受け付けます

## 古賀直樹先生(地歴公民) おすすめの本

『沈黙』

遠藤 周作



島原の乱(1637)が収束して間もないころ、イエズス会の高名な神学者クリストヴァン・フェレイラが布教に赴いた日本での苛酷な弾圧に屈し、棄教したという報せがローマに届く。その事実をどうしても受け入れられないフェレイラの弟子ロドリゴは、何とか日本に潜入したが、幕府に捕えられてしまう。長崎奉行所でロドリゴは棄教した師のフェレイラと出会い、さらにかつては自身も信者であった長崎奉行の井上筑後守との対話を通じて、日本人にとって果たしてキリスト教は意味をもつのかという命題を突きつけられる。

「踏むがよい。お前のその足の痛みを、私がいちばんよく知っている」

この言葉の意味とは……。

私が遠藤作品に魅了され、すっかりはまってしまっかけてしまった一冊です。

1971年と2016年の2度にわたって映画化されています。私が特にお薦めなのは、2016年版です。長崎奉行の通辞(通訳)を演じたのは、浅野忠信さん。さすがクォーターバイリンガル!ロドリゴとの英語のやり取りは、時を忘れて見入ってしまいます!